



教育目標「学ぶ吉中 鍛える吉中 心の吉中」

吉田中学校だより

令和7年4月17日発行 第13号

Tel. 0256-93-3235

吉田中 HP「学校日記」

「校長 vision」お見逃しなく!!



校歌について

校長 武井 正明

校歌を聴いて泣いたことが三度ある。

一度目は大学3年教育実習で、母校の坂井輪小に行った最終日の朝。離任式の最前列で1年生の児童たちが、皆大きく口を開けて、全身で校歌を歌っている姿を見た時、この気持ちは何だ？と心が震えて、涙が溢れて止まらなくなった。

二度目は母校が甲子園初勝利を飾り、甲子園に校歌が流れたのをテレビで見た時だ。残念ながら、その日は甲子園に行けなかった。笑顔弾ける、爽やか明訓サインがスコアボードに向かって「越路の花か白雪か」を歌う姿がテレビ画面に映し出された。

入学当時、毎朝校歌が校内で流れていた。その廊下を俯きながら歩いたものだ。あんなに嫌だった校歌がこんなにも懐かしい…。受験に落ち、高校野球に挑戦すらしなかった劣等感の塊だった自分…、当時の先生や、古い校舎やベランダから見えるキラキラ光る信濃川の水面…、それらが一挙に思い起こされ、涙がポロポロ零れたものだ。

私にとっての校歌とは、母校とは、そういうものなのです。

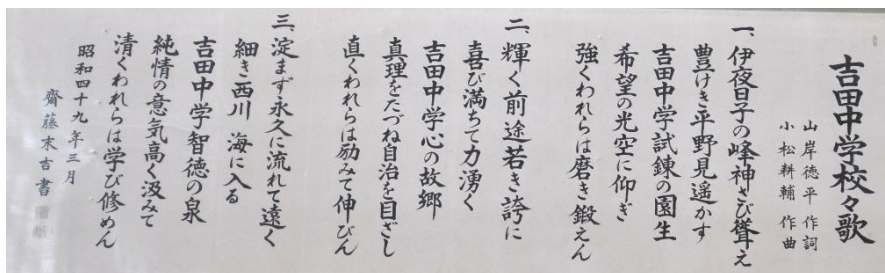
昨春以来、私は吉中校長として、重責だがやりがい満ちた、宝物のような毎日だ。

久しく校歌合唱が叶わなかったが、ようやく体育館で校歌が響くようになった。

先月の午後、最後の卒業式。絶対に来ると信じて待つ体育館に、彼女は来た。ほんとによく来たね。勇気をもって大きな一步を踏み出した彼女に、私達があげられるのは、もうぬくもりだけ。最後のお別れに、出席職員全員で、声を限りに校歌で送った。

苦しい時、この校歌を、俺たちの声を、思い出して強く生きてほしい。「希望の光 空に仰ぎ 強くわれらは磨き鍛えん」

そう、校歌とはかくも懐かしく、背中を押して勇気づけてくれる、心の応援歌。



涙と笑顔で、吉中を旅立っていった彼女の背中を見つめる…。

それは、私も彼女も生涯忘れない大人への第一歩となった。だいじょうぶ、頑張れ!!

3/8(土) 第13回新潟県管打楽器
ソロコンテスト(巻文化会館)



3/14(金)家庭科部校外活動(わらべ)



1年美術部員が描いた傑作「祝卒業」



3/18(火)新生徒会役員リーダー研修会



3/24(月)離任式 涙のお別れ



4/9(水) 入学式 フレッシュな167名!!



3/23(日) 野球全国大会
(岡山県倉敷運動公園)

岡山代表に3-2快勝
全国16強を決める!!



令和7年度5月の主な行事

2(金) PTA 総会(学習参観、学年懇談会)
9(金) 1年生交通安全教室
12(月) 1年生情報交換会(5、6限)
13(火) 全校集会(Good life 週間)
15(木) 内科検診(3年、2年前半)
16(金) 避難訓練

22(木) 歯科検診(2年前半、3年)
23(金) 真和会総会(6限)
27(火) 評議会・専門委員会
29(木) 歯科検診(2年後半、1年)
30(金) 地区大会激励会(6限)